

MBクラブ

を代表して挨拶を行った。よる名刺交換や情報交換を

リコーの子会社である三愛不動産の出身者による交流会を前身として、不動産会社を中心に60社の会員数を有するMBクラブは4月に創立30周年を迎えるにあたり、記念式典を東京メトロ「虎ノ門」駅直結の「霞が関ビル」にある東海大学校友会館の1室にて開催した。

まずは同クラブの幹事である高橋信夫氏（オフイスEビジネス 代表）による開会の宣言を経て、同クラブ会長の永山原氏（不動産コンサル事務所ながやま）が主催者

「当初は50名の参加者を見込んでいたところ、仙台、軽井沢、山梨、静岡、京都など遠方からもご来場いただき、85名を迎えました。私なりに当クラブが30年も続けることができた要因を考えま

理想と理念、理念を生かすべく定例会の開催、交通のアクセスに優れた交流場所の確保、会則による開会の宣言を經紀がない点、会員同士の親睦を深めるうえで研修会の企画。この5つのポイントが挙げられるのではないでしょう。

最後に同クラブ会長代行の山口昭夫氏（フィル

よって参加者の条件に制限を設けず、30年も続けることが実現された。

・現役役員の高橋、記念式典参加者の集合写真の撮影が実施された。

「私も様々な交流会に参加させていただいておりませんが、30年も続くことは他にはなく、凄いなと感じています。明日から35周年または40周年に向けた一歩を踏み出し、諸先輩方々とともに新たな歴史を作ってくださいです。現在、会員は60数社ですが、5年間で100社に増やし、更なる組織の充実を図ってきたいと考えております。今まで築き上げて下さった先輩の方々の意志を引き継ぎ、新しいMBクラブを作っていきたいと思っております。」

その後、同クラブの副会長である清水信行氏（Nコ一ポレーション 代表取締役社長）の乾杯の発声から



参加者による集合写真を撮影

「盛況のうちに創立30周年記念式典が閉会